

【記載例】

指定給水装置工事事業者確認調書

年 月 日

氏名又は名称 **栗原設備**
郵便番号 **〒981-5171**
住 所 **宮城県栗原市金成沢辺町沖 200**
代表者氏名 **栗原 太郎**
電話番号 **0228-42-1133**

① 栗原市上下水道部または他水道事業体が実施している指定給水装置工事事業者講習会の受講実績（過去5年以内）

受講した講習会名 (公表: 可 ・ 不可)

(受講年月日) 平成・令和 年 月 日 **受講無**

(受講無の場合、その理由)

新型コロナウイルスの影響に伴い講習会が開催されなかったため、今後開催されたときには受講予定

② 指定給水装置工事事業者の業務内容

休業日、営業時間 (公表: 可 ・ 不可)

休業日 **日曜日、祝日**

営業時間 **8:30~17:15**

修繕対応時間 **8:30~17:15**

漏水等修繕対応の可否 (公表: 可 ・ 不可)

(該当部の□に「レ」をつけてください。詳細な内容を記入することも可能です。)

屋内給水装置の修繕 ・ 埋設部の修繕

その他

(※その他の欄に、夜間や休日の対応について記載していただいてもかまいません。)

対応工事種別 (公表: 可 ・ 不可)

配水管からの分岐 ~ 水道メーター (新設 ・ 改造)

水道メーター ~ 宅内給水装置 (新設 ・ 改造)

その他 (公表: 可 ・ 不可) ※緊急連絡先等

緊急連絡先: 080-XXXX-XXXX (代表者携帯番号)

※公表には、ホームページ等への掲載を含みます。

【記載例】

③給水装置工事主任技術者等の研修受講実績（過去5年以内）

水道法施行規則第36条

法第25条の8に規定する厚生労働省令で定める給水装置工事の事業の運営に関する基準は、次の各号に掲げるものとする。（以下抜粋）

4 給水装置工事主任技術者及びその他の給水装置工事に従事する者の給水装置工事の施工技术の向上のために、研修の機会を確保するよう努めること。

受講者名（公表対象外）	研修会名、実施団体	受講年月日
栗原 太郎	給水工事振興財団 e-ラーニング	平成29年7月20日
栗原 花子	自社内研修 〇〇に関する業務研修	平成29年7月27日

※外部研修については、修了証や受講証がある場合、写しを添付してください。
自社内研修等で修了証棟がない場合、当該欄への記載のみでかまいません。

上記の内容の公表の可否（公表には、ホームページ等への掲載を含みます。）

可 ・ 不可

外部研修については、修了証や受講証がある場合、写しを添付してください。

自社内研修については、研修内容を記載してください。

受講者名は、公表の対象ではありません。

行数が足りない場合は、必要に応じてコピー等してください。

【記載例】

④過去1年以内の給水装置工事に主に従事した適切に作業を行うことができる技能を有する者の状況

水道法施行規則 第36条

法第25条の8に規定する厚生労働省令で定める給水装置工事の事業の運営に関する基準は、次の各号に掲げるものとする。（以下抜粋）

2 配水管から分岐して給水管を設ける工事及び給水装置の配水管への取付口から水道メーターまでの工事を施行する場合において、当該配水管及び他の地下埋設物に変形、破損その他の異常を生じさせることがないように適切に作業を行うことができる技能を有する者を従事させ、又はその者に当該工事に従事する他の者を実施に監督させること。

「配水管からの分岐～水道メーター」の工事を施行しないため不要の場合は左の□に「レ」をお願いします。

過去1年以内の工事実績がない場合は、直近の状況を記載してください。

技能を有する者の氏名 (公表対象外)	配水管への分水栓の取付・せん孔、給水管の接合、いずれの経験も有しているか (○×を記入)	資格等を有しているか (○×を記入)		工事年度
			保有している資格等	
栗原 太郎	○	○	配管工	R2
栗原 花子	×	○	検定会合格者 技能者認定	R2
栗原 一郎	×	×		H31

上記の内容の公表の可否（公表には、ホームページ等への掲載を含みます。）

可 ・ 不可

行数が足りない場合は、必要に応じてコピー等してください。